



JVC ProHD Log and Transfer Plugin

ユーザーズガイド

もくじ

はじめに

もくじ	2
ソフトウェア使用許諾契約書	3
動作環境	4
インストール方法	4
素材を取り込むための準備	4

操作

画面説明	5
それぞれの機能の使いかた	6
ブラウザ機能	6
プレビュー機能	7
ログ機能	8
転送機能	8
その他	8
変換される QuickTime ムービーファイルの 保存場所を設定する	8
分割されたクリップ（スパンクリップ）の 操作について	8

ご使用の前にこの [ユーザーズガイド] をお読みのうえ、正しくお使いください。


■ JVC ProHD Log and Transfer Plugin について

JVC ProHD Log and Transfer Plugin は JVC が提供する ProHD シリーズのメモリーカードを使用するレコーダー機器で収録した MP4 ファイルフォーマットのクリップを、アップル製の映像編集ソフトウェア Final Cut Pro ※1) に取り込むためのソフトウェアです。本ソフトウェアは Final Cut Pro の切り出しと転送用プラグインとしてインストールされ、収録したクリップを QuickTime ※2) ファイルフォーマットのムービーファイルに変換しながらクリップビンに取り込むことができるようになります。

- ※1 : Final Cut Pro は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- ※2 : QuickTime は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

このユーザーズガイドの見かた

■ 本文中の記号の見かた

- ご注意** : 操作上の注意が書かれています。
- メモ** : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
-  : 参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

■ 登録商標について

- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。

ソフトウェア使用許諾契約書

HD メモリーカード カメラレコーダーまたはメモリーレコーダーをご利用になる前に、以下の「ソフトウェア使用許諾契約書」を必ずお読みください。

ソフトウェア使用許諾契約書

日本ビクター株式会社（以下「弊社」といいます）は、お客様に、弊社 HD メモリーカード カメラレコーダーまたはメモリーレコーダー（以下「本製品」といいます）専用の JVC ProHD Log and Transfer Plugin（以下「本ソフト」といいます）を使用する権利を下記の条件で許諾します。

1 著作権

本ソフトに関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属し又は第三者から正当なライセンスを得たものであり、本ソフトは、日本、アメリカ合衆国およびその他の国の著作権法ならびに関連する条約によって保護されています。

2 権利の許諾

- ① お客様は、本契約の条項に従って、本製品とともに本ソフトを使用する非独占的な権利を本契約に基づき取得します。
- ② お客様は、お客様のコンピューターに搭載された HDD その他の記憶装置に本ソフトをインストールし、使用することができます。
- ③ お客様は、本ソフトをバックアップまたは保存の目的において複製することができます。

3 制限事項

- ① お客様は、いかなる方法によっても、本ソフトの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。
ただし、適法と認められる場合はこの限りではありません。
- ② お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合を除いて、本ソフトを全部または一部であるかを問わず、使用、複製することはできません。
- ③ お客様には本ソフトを第三者に使用許諾する権利はなく、またお客様は本ソフトを第三者に販売、貸与またはリースすることはできません。

4 限定保証

本ソフトは、一切の保証なく、現状で提供されるものであり、弊社はその商品性、特定用途への適合性をはじめ、明示的にも黙示的にも本ソフトに関して一切保証しません。本ソフトに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。

5 責任の制限

弊社は、本契約その他いかなる場合においても、本ソフトに関連する結果的あるいは付随的損害（損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます）について、一切責任を負いません。お客様は、本ソフトの使用に関連して第三者からお客様になされた請求に関連する損害、損失あるいは責任より弊社を免責し、保証するものとします。

6 契約期間

- ① 本契約は、お客様が本ソフトをお客様のコンピューターにインストールされた日を以て発効し、本条第2項の規定により弊社が解除しない限り有効に存続するものとします。
- ② お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、弊社は、お客様に対し、催告を行うことなく直ちに本契約を解除することができます。その場合、弊社は、お客様の違反によって被った損害をお客様に請求することができます。なお、本契約が終了したときには、お客様は直ちにお客様のハードウェアに保存されている本ソフトを破棄（お客様のコンピューター上のメモリーからの消去を含みます）するものとします。

7 輸出管理

お客様は、日本ならびにその他の関係国が、本ソフトあるいはそれに含まれる情報・技術を輸出禁止ないし制限している国、地域並びに者に対して、輸出または出荷しないことに同意します。

8 その他

- ① 弊社の正当な代表者が署名した書面による場合を除き、本契約のいかなる修正、変更、追加、削除その他改変も無効とします。
- ② 本契約のいずれかの規定が法律で無効とされた場合も、他の規定は依然有効とします。
- ③ 本契約は日本国法を準拠法とします。本契約に関連または起因する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所としてこれを解決するものとします。

動作環境

JVC ProHD Log and Transfer Plugin ソフトウェアを使用するためには、以下に示すコンピューター環境が必要です。コンピューター本体（Mac 環境にのみ対応しています）

項目	条件
プロセッサ	Intel Core 2 Duo 2GHz、Intel Core 2 Xeon 2GHz 以上（推奨）
メモリー	2GB 以上
ハードディスクの空き容量	インストール時 10MB 以上必要 ご注意： ● 映像編集を行うにはハードディスクの十分な空き容量が必要です。
OS	Mac OS X 10.5.6 以上
QuickTime プレイヤー	7.5.5 以上
Final Cut Pro	6.0.5 以上

ご注意：

- 動作環境は本ソフトウェアを快適にお使いいただくためのめやすであり、動作保証するものではありません。
- SxS メモリーカードをコンピューターの ExpressCard/34 スロットに直接挿入して使う場合、SxS メモリーカードドライバがインストールされている必要があります。詳細につきましては、付属 CD-ROM に添付されている、[SxS メモリーカードデバイスドライバソフトウェア] の [インストールガイド] をご覧ください。

インストール方法

インストール

- 1 添付の CR-ROM を Finder などひらく
- 2 [Software] フォルダ → [Log and Transfer] フォルダ → [MAC OS X] フォルダにある [JVC ProHD Log and Transfer Plugin.dmg] をダブルクリックし、ファイル解凍後にできるディスクイメージファイルを実行する
- 3 画面の指示に従ってインストールを実行する

素材を取り込むための準備

素材が収録されたメモリーカードから直接取り込む

■ SxS メモリーカードの場合

コンピューターに Express Card スロットがある場合、カードをスロットに挿入するとデスクトップ上に自動的にマウントされます。

SxS メモリーカード USB リーダーライターを使ってコンピューターと接続すると、デスクトップ上に自動的にマウントされます。

■ その他のメモリーカードの場合

USB カードリーダーなどを使ってコンピューターと接続すると、デスクトップ上に自動的にマウントされます。

ご注意：

- コンピューターとの USB 接続の方法についてはお使いのレコーダーの [取扱説明書] をご覧ください。

素材をコンピューターのハードディスクなどにあらかじめアーカイブしておき、アーカイブ先から取り込む

レコーダーなどでメモリーカードに収録した素材は、バックアップや将来の再利用のためにあらかじめハードディスクなどにすべてコピーしておくことをお勧めします。

メモリーカードの素材をコピーするためには、同じく提供されているソフトウェア、[JVC ProHD Clip Manager] をお使いください。

メモ：

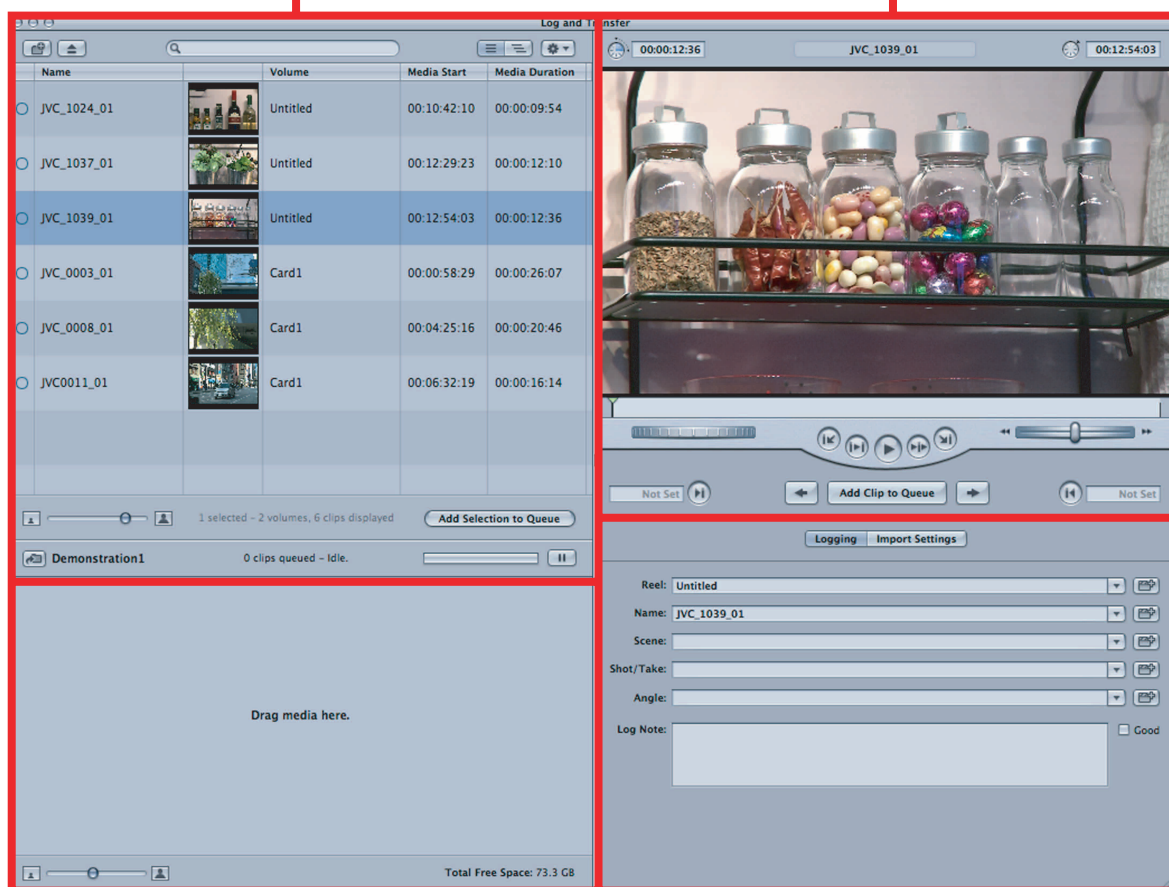
- メモリーカードに収録された素材を安全にコピーするためには、以下のような手順をおすすめします。
 - ① あらかじめ、メモリーカードごとのフォルダを新規作成する
 - ② ① で作成したフォルダ上に、メモリーカードの素材をすべてコピーする
 - ③ 他のメモリーカードをコピーする場合は別のフォルダへコピーする

画面説明

- Final Cut Pro を起動し、メニュー [ファイル]→[切り出しと転送]を選択すると以下のような画面が表示されます。
- 素材が収録されたメモリーカードが接続されると、自動的に素材を検索して素材データとサムネイルが表示されます。素材をフォルダー構造ごとハードディスクなどの別の場所に保存している場合は、該当するフォルダーを指定することもできます。
- [切り出しと転送]は、4つの機能から構成されています。

[ブラウザ機能] (I 6 ページ)

[プレビュー機能] (I 7 ページ)



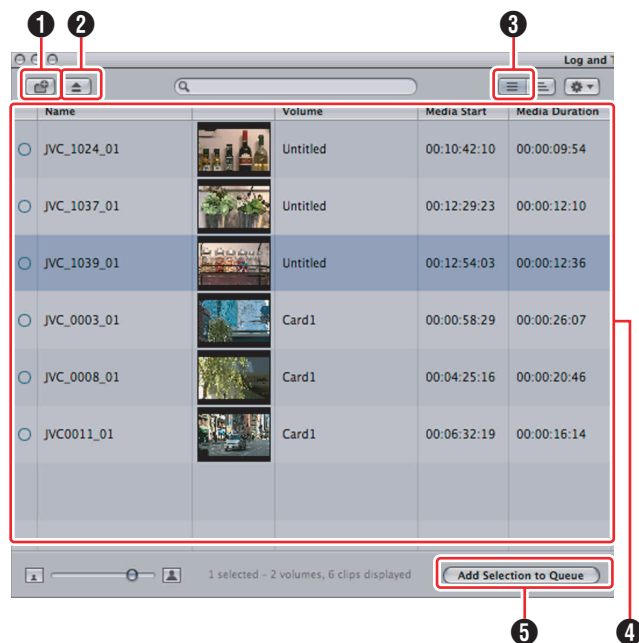
[転送機能] (I 8 ページ)

[ログ機能] (I 8 ページ)

それぞれの機能の使いかた

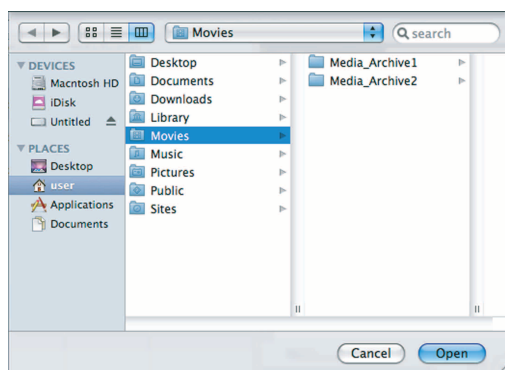
ブラウザ機能

ブラウザ画面では、マウントされているメモリーカードや、①フォルダーの追加で追加登録されたフォルダーにあるクリップが一覧表示され、サムネイルとメタデータが表示されます。



① フォルダーの追加ボタン

ボタンをクリックすると以下のウィンドウがひらき、素材が保存されているフォルダーを追加登録することができます。



② メディアのアンマウントボタン

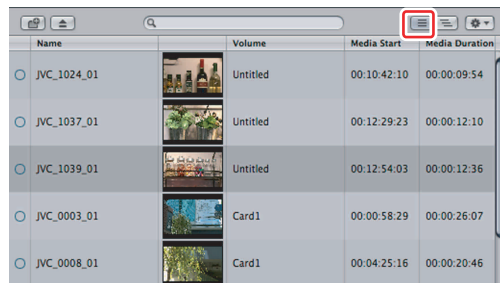
ボタンをクリックすると、ブラウザ画面で選択されているマウント済みメモリーカードや素材が収録されたフォルダーがアンマウントされます。

③ フラットリスト / 階層リスト項目表示ボタン

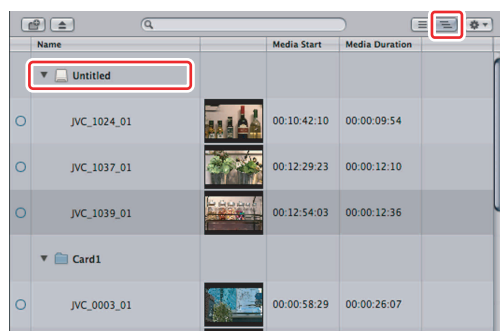
ボタンをクリックすると、下記のようにそれぞれフラットリスト表示と階層リスト表示に切り換わります。

- マウントするボリューム単位で表示されます。
- ボリューム名が表示されます。

①フラット表示



②階層表示



④ 素材一覧

- 素材は、収録したクリップ単位で表示されます。
- 名前には、クリップ名が表示されます。
- ボリュームにはクリップが収録されているメディアのボリューム名が表示されます。
- メディアの開始には収録の開始時刻のタイムコードが表示されます。
- メディア継続時間には収録時間のタイムコードが表示されます。

⑤ [選択項目をキューに追加] ボタン

クリップを選択してからクリックすると、ファイル転送を開始します。1つまたは、複数のクリップを選択することができます。転送されたファイルは、Final Cut Pro の編集プロジェクトのクリップビンに登録され、編集ができるようになります。転送後のファイルは QuickTime フォーマットのファイルに変換されます。

転送後、転送済みの動画に関しては以下のように表示が変わります。

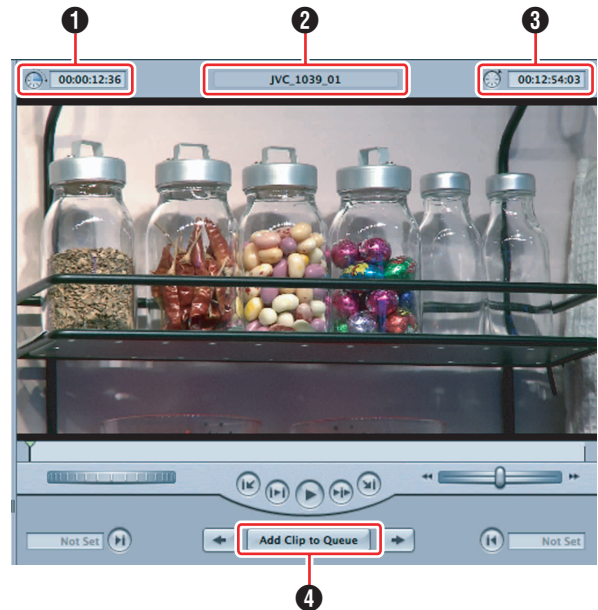
■ 転送前

Name		Media Start	Media Duration
▼ Untitled			
JVC_1024_01		00:10:42:10	00:00:09:54
JVC_1037_01		00:12:29:23	00:00:12:10

■ 転送後

Name		Media Start	Media Duration
▼ Untitled			
JVC_1024_01		00:10:42:10	00:00:09:54
JVC_1037_01		00:12:29:23	00:00:12:10

プレビュー機能



① デュレーション表示ラベル

クリップの長さがタイムコードで表示されます。

② タイトル表示ラベル

クリップのタイトル（ブラウザ画面の名前）が表示されます。

③ タイムコード表示ラベル

クリップの現在位置をタイムコードで表示します。

④ [クリップをキューに追加] ボタン

プレビューで選択されたクリップのファイル転送を開始します。

メモ:

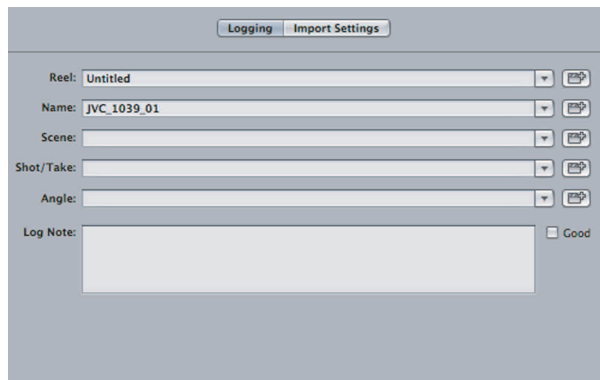
- くわしくは、ブラウザ機能 [選択項目をキューに追加] ボタンと同じです。(P. 7 ページ)

画面説明（つづき）

ログ機能

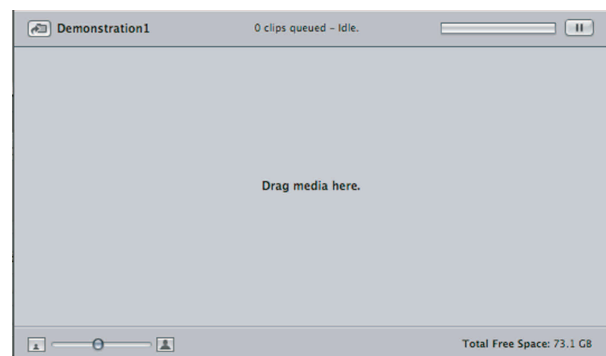
■ 切り出しウィンドウ

ウィンドウに表示される各テキストボックスに、コメントなどのテキストデータを入れることができます。Final Cut Pro のクリップビンに転送されるときに、このデータも転送されます。



転送機能

[クリップをキューに追加] ボタンまたは [選択項目をキューに追加] ボタンを押したとき、変換対象の素材が追加され、動画変換状況が表示されます。(P.7 ページ) 動画変換の進捗は、転送画面右上にあるプログレスバーに表示されます。



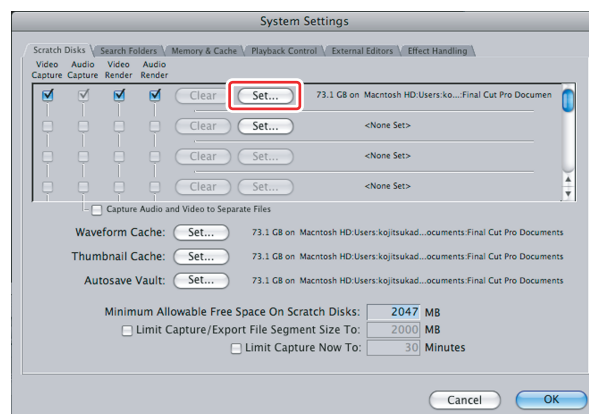
メモ:

- ブラウザウィンドウから転送ウィンドウへ選択したクリップをドラッグアンドドロップしても同じです。

その他

変換される QuickTime ムービーファイルの保存場所を設定する

下図の設定ボタン ([Final Cut Pro] メニュー → [システム設定] → [取り込み先ディスク]) により、変換される QuickTime ムービーファイルの保存先を設定することができます。



分割されたクリップ（スパンクリップ）の操作について

お使いの機器で収録されたクリップは、複数のメモリーカードにまたがって連続記録されたり、1 枚のメモリーカード内であってもファイルサイズの制限（4GB）を超えて記録されたりして、複数のクリップに分割される場合があります。本ソフトウェアではスパンクリップを 1 つのクリップとしてプレビューしたり転送したりすることができます。

メモ:

- 複数のカードにまたがって連続して記録された場合は、すべてのカードをあらかじめコンピューターのハードディスクなどにアーカイブしておき、JVC ProHD Clip Manager を使用してそれぞれのカードのフォルダーを結合してから、アーカイブ先のフォルダーをマウントしてください。(P.4 ページ [素材を取り込むための準備])

お客様ご相談センター



0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (045)450-8950 [代表]

FAX (045)450-2275

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2 電話 (042) 660-7245